



漕代小学校だより



松阪市立漕代小学校 令和7年12月23日(火) NO.24

ホームページ <http://www.koishirosho.com>

E-mail: koishiro2es@matsusaka.ed.jp

校長

橋本恵美子

全校児童のみなさんへ

今年は、長く、内容の濃い1年でした。

今日は、「人」という漢字について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

この1年を振り返ると、この「人」という漢字の意味を実感する場面が、たくさんあったからです。「人」という字は、二本の線が支え合う形でできています。一方がもう一方を支え、また支えられて立っています。これは、「人は一人では生きていけない」「人は人によって支えられている」という意味を表していると言われています。



発表の準備で困ったとき、友だちが声をかけてくれたこと。うまくいかず落ち込んだとき、誰かがそばにいてくれたこと。友達と、意見がぶつかりながらも、話し合っって前に進んだこと。そこには必ず「人」と「人」との関わりがありました。

また、みなさん自身も、誰かを支える「人」になっていたはずです。友だちを励ましたり、自分より小さい学年の子に教えたり、当たり前のように役割を果たしたりする姿を、わたしはたくさん見してきました。うれしい姿でした。支えられる側だけでなく、支える側にもなれること。それが成長です。

また、「人」という字からできている言葉はたくさんあります。

例えば、「仲間」「信頼」「思いやり」「協力」。どれも、人と人とのつながりがあってこそ生まれる言葉です。反対に、相手の気持ちを考えなかった行動や言葉は、人と人との間に距離を作ってしまう。この1年で、うまくいかなかった人間関係があった人かもしれません。しかし、その経験も、「人」と向き合う大切な学びです。

これから始まる冬休みは、家族や周りの人と過ごす時間が増えると思います。自分がどれだけ多くの「人」に支えられているかを、ぜひ感じてみてください。そして、感謝の気持ちを言葉や行動で伝えてみましょう。

また、新しい年に向けて、「どんな人になりたいか」を考えてみてください。優しい人、努力を続ける人、周りを大切にできる人。目標は立派でなくても構いません。小さな意識の積み重ねが、みなさんを成長させてくれます。

今年、学んだこと、そして「人」としての成長を大切にしながら、次のステージへと進んでいきましょう。

みなさんが、健康で安全に冬休みを過ごし、また元気な姿で1月に会えることを楽しみにしています。

みなさんのキラキラ光る姿がたくさん見られた1年でした。

よくできました。